

6-3 市民活動を支える交通環境の充実

No.	事務事業名	事業実施課	事業区分	事業概要	財源	概算コスト(単位:千円)				主な活動指標				主な成果指標				一次評価結果	二次評価結果	評価理由		
						21年度	22年度	23年度	24年度	指標名	21年度	22年度	23年度	24年度	指標名	21年度	22年度				23年度	24年度
1	高規格幹線道路・地域高規格道路の整備促進	建設局 街路整備課	社会基盤・都市施設基盤	○事業開始年度 昭和55年度 【概要】高規格幹線道路・地域高規格道路の整備促進を図るため、関係市町等で組織する期成会等での活動を通じて、国等への要望活動を行う。 【対象者】市民 【具体的な活動内容】南九州西回り自動車道建設促進期成会等において、国等への要望活動を行い、鹿児島市と沿線市町・隣県を結ぶ高規格幹線道路等の整備促進を図る。 ※これまでの主な成果 ○南九州西回り自動車道 供用中:鹿児島IC～薩摩川内都IC間 ○東九州自動車道 供用中:鹿児島IC～曾於弥五郎IC間	市単	[概算コスト] 3,190 (内訳) ・決算額 403 ・人件費 2,787 (0.35人)	[概算コスト] 3,192 (内訳) ・決算額 381 ・人件費 2,811 (0.35人)	[概算コスト] 3,154 (内訳) ・決算額 381 ・人件費 2,773 (0.35人)	[概算コスト] 2,343 (内訳) ・予算額 381 ・人件費 1,962 (0.25人)	期成会等 総会・幹事 会参加回数 (単位:回)	[目標値] 7 [実績値] 7 <達成率> 100.0%	[目標値] 7 [実績値] 7 <達成率> 100.0%	[目標値] 7 [実績値] 7 <達成率> 100.0%	[目標値] 7 [実績値] 7 <達成率> 100.0%	高規格幹 線道路供 用率 (単位:%)	[目標値] 68 [実績値] 60 <達成率> 88.2%	[目標値] 68 [実績値] 60 <達成率> 88.2%	[目標値] 68 [実績値] 60 <達成率> 88.2%	[目標値] 68 [実績値] 60 <達成率> 88.2%	A	A	継続 (理由) ※外部評価報告書参照
2	国道・県道の整備促進	建設局 街路整備課	社会基盤・都市施設基盤	○事業開始年度 昭和58年度 【概要】国道・県道の整備促進のため期成会、県市長会及び県との意見交換会等を通して強く要望する。 【対象者】市民 【具体的な活動内容】国道226号整備促進協議会等において、国や県への要望活動を行い、鹿児島市と沿線市町を結ぶ国道・県道の整備促進を図る。	市単	[概算コスト] 3,788 (内訳) ・決算額 205 ・人件費 3,583 (0.45人)	[概算コスト] 3,801 (内訳) ・決算額 187 ・人件費 3,614 (0.45人)	[概算コスト] 3,752 (内訳) ・決算額 187 ・人件費 3,565 (0.45人)	[概算コスト] 2,994 (内訳) ・予算額 247 ・人件費 2,747 (0.35人)	期成会等 総会・幹事 会参加回数 (単位:回)	[目標値] 10 [実績値] 10 <達成率> 100.0%	[目標値] 10 [実績値] 10 <達成率> 100.0%	[目標値] 10 [実績値] 10 <達成率> 100.0%	[目標値] 14 [実績値] 10 <達成率> 100.0%	県道伊集 院蒲生溝 辺線(市域 内全線改 良済など の整備の 推進	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	A	A	継続 (理由) ※外部評価報告書参照
3	鉄道網の整備促進	企画財政局 交通政策課	社会基盤・都市施設基盤	○事業開始年度 (鹿)平成9年度/(指)昭和52年度 【概要】鹿児島県鉄道整備促進協議会、指宿枕崎線輸送強化促進期成会の一員として負担金を支出し、JR等関係機関に対して、鉄道交通網の整備促進及び輸送サービスの改善に関する要望を行う。 【具体的な活動内容】JR九州鹿児島支社、及び本社等に対して、鉄道交通網の整備促進及び輸送サービスの改善に関する要望活動を行う。	市単	[概算コスト] 908 (内訳) ・決算額 112 ・人件費 796 (0.10人)	[概算コスト] 915 (内訳) ・決算額 112 ・人件費 803 (0.10人)	[概算コスト] 905 (内訳) ・決算額 113 ・人件費 792 (0.10人)	[概算コスト] 898 (内訳) ・予算額 113 ・人件費 785 (0.10人)	要望活動 の実施回 数 (単位:件)	[目標値] 7 [実績値] 7 <達成率> 100.0%	[目標値] 8 [実績値] 8 <達成率> 100.0%	[目標値] 9 [実績値] 9 <達成率> 100.0%	[目標値] 6 [実績値] 9 <達成率> 100.0%	鉄道網の 整備促進 (単位:)	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	A	A	継続 (理由) 地域住民の重要な交通手段である 鉄道交通網の整備促進やサービス 改善等の要望を行うため必要な事業 である。
4	国内外航路の拡充促進	企画財政局 交通政策課	社会基盤・都市施設基盤	○事業開始年度 平成2年度 【概要】鹿児島県国際航路開設促進協議会の一員として負担金を支出し、鹿児島県とアジア太平洋諸国との間の海上輸送航路の開設を促進し、その早期実現を図る。 【具体的な活動内容】 ・検疫体制の充実等に係る国への要望 ・物流事業者向けフォーラム開催等の輸出促進事業 など	市単	[概算コスト] 319 (内訳) ・決算額 160 ・人件費 159 (0.02人)	[概算コスト] 321 (内訳) ・決算額 160 ・人件費 161 (0.02人)	[概算コスト] 302 (内訳) ・決算額 144 ・人件費 158 (0.02人)	[概算コスト] 301 (内訳) ・予算額 144 ・人件費 157 (0.02人)	要望活動 の実施回 数 (単位:件)	[目標値] 2 [実績値] 2 <達成率> 100.0%	[目標値] 2 [実績値] 2 <達成率> 100.0%	[目標値] 2 [実績値] 2 <達成率> 100.0%	[目標値] 2 [実績値] 2 <達成率> 100.0%	国内外航 路の拡充 促進 (単位:)	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	A	D	縮小 (理由) 鹿児島港への定期的な国際航路の 開設は困難であると考えられるな ど、本市の関与の必要性が低くなっ ていることから、関係機関と協議し、 負担金の減額を検討すべきである。
5	東西幹線・南北幹線道路の整備促進事業	建設局 街路整備課	社会基盤・都市施設基盤	○事業開始年度 平成5年度 【概要】鹿児島東西・南北幹線道路の早期整備に向けて、民間団体等と一体となって国等に対する要望活動等を幅広く展開し、両幹線道路の整備促進を図る。 【対象者】市民 【具体的な活動内容】市・市議会をはじめ経済団体、運輸団体等の民間団体を含む23団体で構成する「鹿児島東西・南北幹線道路建設促進期成会」において、国・県への要望活動を行う。	市単	[概算コスト] 5,251 (内訳) ・決算額 872 ・人件費 4,379 (0.55人)	[概算コスト] 4,463 (内訳) ・決算額 46 ・人件費 4,417 (0.55人)	[概算コスト] 5,133 (内訳) ・決算額 775 ・人件費 4,358 (0.55人)	[概算コスト] 4,702 (内訳) ・予算額 777 ・人件費 3,925 (0.50人)	期成会総 会・幹事 会の開催 回数 (単位:回)	[目標値] 2 [実績値] 2 <達成率> 100.0%	[目標値] 2 [実績値] 2 <達成率> 100.0%	[目標値] 2 [実績値] 2 <達成率> 100.0%	[目標値] 2 [実績値] 2 <達成率> 100.0%	鹿児島東 西道路供 用延長 (単位:km)	[目標値] 0.40 [実績値] 0.40 <達成率> 100.0%	[目標値] 0.40 [実績値] 0.40 <達成率> 100.0%	[目標値] 0.40 [実績値] 0.40 <達成率> 100.0%	[目標値] 0.40 [実績値] 0.40 <達成率> 100.0%	A	A	継続 (理由) ※外部評価報告書参照
6	街路事業の推進	建設局 街路整備課	社会基盤・都市施設基盤	○事業開始年度 昭和63年度 【概要】国・県道等を結ぶ幹線道路や周辺団地から市街地中心部へのアクセス機能を有する都市内幹線道路の整備を行う。 【対象者】市民 【具体的な活動内容】都市計画道路事業の認可手続き、用地取得、工事等を行う(高麗通線、文武岡線、宇宿広木線、谷山支所前通線)。	国・県補助	[概算コスト] 1,843,223 (内訳) ・決算額 1,787,489 ・人件費 55,734 (7.00人)	[概算コスト] 2,517,468 (内訳) ・決算額 2,457,243 ・人件費 60,225 (7.50人)	[概算コスト] 2,170,018 (内訳) ・決算額 2,110,595 ・人件費 59,423 (7.50人)	[概算コスト] 2,559,214 (内訳) ・予算額 2,516,044 ・人件費 43,170 (5.50人)	都市内幹 線道路整 備換算延 長 (単位:m)	[目標値] 270 [実績値] 225 <達成率> 83.3%	[目標値] 455 [実績値] 354 <達成率> 77.8%	[目標値] 402 [実績値] 244 <達成率> 60.7%	[目標値] 371 [実績値] 244 <達成率> 60.7%	都市内幹 線道路整 備換算累 計延長 (単位:m)	[目標値] 2,779 [実績値] 1,506 <達成率> 54.2%	[目標値] 2,779 [実績値] 1,861 <達成率> 67.0%	[目標値] 2,779 [実績値] 2,105 <達成率> 75.7%	[目標値] 2,779 [実績値] 2,779 <達成率> 100.0%	A	A	継続 (理由) 交通の円滑化を図るため、国・県道 等を結ぶ幹線道路や周辺団地から 市街地中心部へのアクセス機能を有 する都市内幹線道路を整備すること は必要である。

6-3 市民活動を支える交通環境の充実

No.	事務事業名	事業実施課	事業区分	事業概要	財源	概算コスト(単位:千円)				主な活動指標				主な成果指標				一次評価結果	二次評価結果	評価理由		
						21年度	22年度	23年度	24年度	指標名	21年度	22年度	23年度	24年度	指標名	21年度	22年度				23年度	24年度
7	都市計画道路調査事業	建設局 街路整備課	社会基盤・都市施設基盤	○事業開始年度 昭和56年度 【概要】都市計画道路の整備計画を策定するために、主な幹線道路や都市計画道路における道路交通量調査を行い、その現状及び経年変化を把握し、都市計画の決定や変更に資する。 【対象者】市民 【具体的な活動内容】幹線道路等の交通量調査を実施し、その結果等を考慮して道路構造の計画及び設計を行うとともに、都市計画の変更に伴う図書作成、関係機関との協議、地元説明会等を実施し、都市計画の決定及び変更を行う。	市単	[概算コスト] 27,956 (内訳) ・決算額 10,440 ・人件費 17,516 (2.20人)	[概算コスト] 28,154 (内訳) ・決算額 10,488 ・人件費 17,666 (2.20人)	[概算コスト] 29,303 (内訳) ・決算額 11,872 ・人件費 17,431 (2.20人)	[概算コスト] 27,215 (内訳) ・予算額 12,302 ・人件費 14,913 (1.90人)	調査等実施回数 (単位:回)	[目標値] 1 [実績値] 1 <達成率> 100.0%	[目標値] 1 [実績値] 1 <達成率> 100.0%	[目標値] 1 [実績値] 1 <達成率> 100.0%	[目標値]	都市計画道路事業の円滑な推進	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値]	A	A	継続 (理由) 道路交通量調査は、都市計画道路事業の円滑な推進を図るために必要である。
8	駐車場整備計画事業	建設局 街路整備課	社会基盤・都市施設基盤	○事業開始年度 平成10年度 【概要】既存駐車施設の有効活用を図るためのソフト面の対策を行うとともに、法改正の動向や本市の駐車場施策の課題等の把握に努め、現在の計画の見直し等の必要性を検討する。 【対象者】市民 【具体的な活動内容】中心市街地で駐車場の利用が一部に集中する傾向があることから、駐車場マップを作成し、ホームページに掲載することにより、既存駐車場の利用を促進し、駐車需要の分散化や入庫待ちによる路上駐車減少並びに交通の円滑化を図る。	市単	[概算コスト] 4,459 (内訳) ・決算額 80 ・人件費 4,379 (0.55人)	[概算コスト] 4,418 (内訳) ・決算額 1 ・人件費 4,417 (0.55人)	[概算コスト] 16,906 (内訳) ・決算額 12,548 ・人件費 4,358 (0.55人)	[概算コスト] 2,791 (内訳) ・予算額 44 ・人件費 2,747 (0.35人)	駐車場整備地区駐車場調査 (単位:回)	[目標値] 1 [実績値] 1 <達成率> 100.0%	[目標値] 1 [実績値] 1 <達成率> 100.0%	[目標値] 1 [実績値] 1 <達成率> 100.0%	[目標値]	駐車場利用者への駐車場情報の提供・周知	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値]	A	D	縮小 (理由) 駐車場マップについては、コイン式パーキング等の駐車場の増加やカーナビの普及等により駐車場の検索が容易になっており、利用状況も不明確なことから、作成は終了すべきである。
9	公共交通ビジョン推進事業	企画財政局 交通政策課	社会基盤・都市施設基盤	○事業開始年度 平成22年度 【概要】平成21年度に策定した公共交通ビジョンの着実な推進を図るため、学識経験者、交通事業者、関係行政機関等で構成する推進会議を設置し、施策の実施状況や目標の達成状況を把握し、調整を行う。 【対象者】市民、事業者、行政 【具体的な活動内容】推進会議、同幹事会による進行管理等(年2回程度開催)	市単	[概算コスト] 12,786 (内訳) ・決算額 7,213 ・人件費 5,573 (0.70人)	[概算コスト] 7,440 (内訳) ・決算額 5,031 ・人件費 2,409 (0.30人)	[概算コスト] 17,124 (内訳) ・決算額 14,747 ・人件費 2,377 (0.30人)	[概算コスト] 5,322 (内訳) ・予算額 2,967 ・人件費 2,355 (0.30人)	会議の開催回数 (単位:回)	[目標値] 6 [実績値] 6 <達成率> 100.0%	[目標値] 2 [実績値] 2 <達成率> 100.0%	[目標値] 2 [実績値] 2 <達成率> 100.0%	[目標値] 4	推進事業数 (単位:項目)	[目標値] 109 [実績値] 109 <達成率> 100.0%	[目標値] 97 [実績値] 97 <達成率> 100.0%	[目標値]	[目標値]	A	A	継続 (理由) 「市民生活を支える機能性の高い快適なまち」の実現に向けた個別計画(鹿児島市公共交通ビジョン)の進行管理を行うものであり、必要な事業である。
10	公共交通不便地対策事業	企画財政局 交通政策課	社会基盤・都市施設基盤	○事業開始年度 平成18年度 【概要】本市の公共交通不便地において、地域住民の日常生活における交通手段を確保するため、コミュニティバス「あいばす」や乗合タクシー等を運行し、各事業者に対して助成を行う。 【対象者】公共交通不便地の住民 【具体的な活動内容】18年度 調査検討業務を行い、公共交通不便地14エリアを選定 20年度 上記3地域(4エリア)において、コミュニティバス「あいばす」の運行を開始 22年度 上記4地域(8エリア)において「あいばす」の運行開始 23年度 乗合タクシーのデマンド交通の運行を開始	市単	[概算コスト] 75,110 (内訳) ・決算額 63,167 ・人件費 11,943 (1.50人)	[概算コスト] 85,974 (内訳) ・決算額 73,929 ・人件費 12,045 (1.50人)	[概算コスト] 154,382 (内訳) ・決算額 142,497 ・人件費 11,885 (1.50人)	[概算コスト] 160,847 (内訳) ・予算額 149,073 ・人件費 11,774 (1.50人)	公共交通不便地の解消 (単位:エリア)	[目標値] 14 [実績値] 3 <達成率> 21.4%	[目標値] 14 [実績値] 13 <達成率> 92.9%	[目標値] 14 [実績値] 14 <達成率> 100.0%	[目標値] 14	年間利用者数 (単位:人)	[目標値] 49,340 [実績値] 49,340 <達成率> 100.0%	[目標値] 84,106 [実績値] 84,106 <達成率> 100.0%	[目標値] 133,317 [実績値] 133,317 <達成率> 100.0%	[目標値] 133,317	A	A	継続 (理由) 公共交通不便地の住民の日常生活や公共的施設を利用するうえでの公共交通手段を確保するため必要な事業である。
11	バス運行対策の実施	企画財政局 交通政策課	社会基盤・都市施設基盤	○事業開始年度 平成14年度 【概要】輸送人員の減少により、路線維持が困難となっている生活交通路線を運行するバス事業者に対して、補助金を交付する。 【対象者】バス事業者 【具体的な活動内容】生活交通路線について、国、県と協調し、経常費用と経常収益の差額を補助する。(負担割合 国・県:経常経費の4.5/20以下、市:経常経費の11/20と経常収益の差額) ・23年度 5系統(鹿児島～枕崎、鹿児島～山川、鹿児島～加世田、鹿児島中央～牧之原、桜島港～垂水港)	市単	[概算コスト] 3,516 (内訳) ・決算額 2,720 ・人件費 796 (0.10人)	[概算コスト] 4,034 (内訳) ・決算額 3,231 ・人件費 803 (0.10人)	[概算コスト] 3,456 (内訳) ・決算額 2,664 ・人件費 792 (0.10人)	[概算コスト] 3,449 (内訳) ・予算額 2,664 ・人件費 785 (0.10人)	補助金交付件数 (単位:件)	[目標値] 2 [実績値] 2 <達成率> 100.0%	[目標値] 2 [実績値] 2 <達成率> 100.0%	[目標値] 2 [実績値] 2 <達成率> 100.0%	[目標値] 2	維持された路線数 (単位:系統)	[目標値] 5 [実績値] 5 <達成率> 100.0%	[目標値] 4 [実績値] 4 <達成率> 100.0%	[目標値] 5 [実績値] 5 <達成率> 100.0%	[目標値] 5	A	A	継続 (理由) 生活交通路線の運行の維持を図り、地域住民の福祉を確保するために必要な事業である。
12	廃止バス路線対策事業	企画財政局 交通政策課	社会基盤・都市施設基盤	○事業開始年度 平成18年度 【概要】バス路線廃止に伴い、地域住民の日常生活や公共的施設の利用に必要な公共交通機関を確保するため、廃止路線代替バスを運行するための補助金を交付する。 【対象者】バス事業者 【具体的な活動内容】・本市単独廃止路線代替バスの運行(犬迫方面4系統、皆与志方面4系統) ・廃止路線代替バスの運行(加世田方面1系統)	市単	[概算コスト] 28,228 (内訳) ・決算額 25,839 ・人件費 2,389 (0.30人)	[概算コスト] 22,450 (内訳) ・決算額 20,041 ・人件費 2,409 (0.30人)	[概算コスト] 17,340 (内訳) ・決算額 14,963 ・人件費 2,377 (0.30人)	[概算コスト] 16,844 (内訳) ・予算額 14,489 ・人件費 2,355 (0.30人)	補助金交付件数 (単位:件)	[目標値] 3 [実績値] 3 <達成率> 100.0%	[目標値] 3 [実績値] 3 <達成率> 100.0%	[目標値] 2 [実績値] 2 <達成率> 100.0%	[目標値] 2	運行路線数 (単位:系統)	[目標値] 10 [実績値] 10 <達成率> 100.0%	[目標値] 10 [実績値] 10 <達成率> 100.0%	[目標値] 9 [実績値] 9 <達成率> 100.0%	[目標値] 9	A	A	継続 (理由) 地域住民の日常生活や公共的施設を利用するうえでの公共交通手段を確保するため必要な事業である。

6-3 市民活動を支える交通環境の充実

No.	事務事業名	事業実施課	事業区分	事業概要	財源	概算コスト(単位:千円)				主な活動指標				主な成果指標				一次評価結果	二次評価結果	評価理由			
						21年度	22年度	23年度	24年度	指標名	21年度	22年度	23年度	24年度	指標名	21年度	22年度				23年度	24年度	
13	東白浜～黒神口間バスの運行	企画財政局 交通政策課	社会基盤・都市施設基盤	○事業開始年度 昭和61年度 【概要】桜島町営バス桜島黒神線の一部区間(東白浜～黒神口間)が、昭和61年9月に廃止されたことに伴い、同年10月から同区間に代替バスを運行してきたもので、平成16年11月から東白浜～古河良間についても一体的な運行を市交通局に依頼し、その運行維持のための負担金を交付しているもの。 【対象者】主に桜島の住民 【具体的な活動内容】東白浜～黒神口間のバス運行(3系統)	市単	[概算コスト] 14,353 (内訳) ・決算額 13,557 ・人件費 796 (0.10人)	[概算コスト] 16,592 (内訳) ・決算額 15,789 ・人件費 803 (0.10人)	[概算コスト] 16,586 (内訳) ・決算額 15,794 ・人件費 792 (0.10人)	[概算コスト] 16,507 (内訳) ・予算額 15,722 ・人件費 785 (0.10人)	負担金交付件数 (単位:件)	[目標値] 1 [実績値] 1 <達成率> 100.0%	[目標値] 1 [実績値] 1 <達成率> 100.0%	[目標値] 1 [実績値] 1 <達成率> 100.0%	[目標値] 1 [実績値] 1 <達成率> 100.0%	運行路線数 (単位:系統)	[目標値] 3 [実績値] 3 <達成率> 100.0%	[目標値] 3 [実績値] 3 <達成率> 100.0%	[目標値] 3 [実績値] 3 <達成率> 100.0%	[目標値] 3 [実績値] 3 <達成率> 100.0%	A	A	継続 (理由) 地域住民の日常生活や公共的施設を利用するうえでの公共交通手段を確保するため必要な事業である。	
14	市営バスの路線・ダイヤの全面見直し	交通局 バス事業課	社会基盤・都市施設基盤	○事業開始年度 昭和5年(経営健全化計画に基づく取組は平成21年度～) 【概要】市営バスの路線・ダイヤについて、利用者ニーズ等に合った見直しを行う。 【対象者】バス利用者 【具体的な活動内容】 ・運行本数の見直し ・路線の統廃合 ・経路の変更 ・ダイヤ改正 など	特会	[概算コスト] 1,194 (内訳) ・決算額 0 ・人件費 1,194 (0.15人)	[概算コスト] 4,483 (内訳) ・決算額 1,994 ・人件費 2,489 (0.31人)	[概算コスト] 3,868 (内訳) ・決算額 1,412 ・人件費 2,456 (0.31人)	[概算コスト] 2,377 (内訳) ・予算額 1,200 ・人件費 1,177 (0.15人)	見直し路線数 (単位:路線)	[目標値] 22 [実績値] 16 <達成率> 177.8%	[目標値] 9 [実績値] 21 <達成率> 161.5%	[目標値] 13 [実績値] 21 <達成率> 161.5%	[目標値] 2 [実績値] 2 <達成率> 100.0%	1車1キロ当たり旅客数 (単位:人)	[目標値] 1.65 [実績値] 1.63 <達成率> 96.4%	[目標値] 1.65 [実績値] 1.59 <達成率> 97.0%	[目標値] 1.65 [実績値] 1.60 <達成率> 97.0%	[目標値] 1.65 [実績値] 1.60 <達成率> 97.0%	A	A	継続 (理由) 乗客需要や利用者ニーズの変化等を把握し、コスト意識を持った路線・ダイヤの見直しに努める必要がある。	
15	市交通事業経営健全化計画に基づく取組の推進	交通局 総合企画課	その他	○事業開始年度 平成22年度 【概要】これまでの「新・経営改善計画」を踏まえつつ、これまで以上に経営健全化への方策に鋭意取り組むことにより、経営の健全化を図っていく。 ○計画期間:平成22年度から平成28年度までの7年間 【具体的な活動内容】 ・運行路線やダイヤ等の見直し ・北・桜島営業所等管内の路線に係る管理の受委託(市バス) ・新幹線全線開業による観光交流への対応 ・市電・市バスの利用促進PR ・光熱水費など管理経費の削減 ・経営の健全化に関する情報の共有化	特会	[概算コスト] (内訳) ・決算額 ・人件費	[概算コスト] 8,391 (内訳) ・決算額 361 ・人件費 8,030 (1.00人)	[概算コスト] 8,682 (内訳) ・決算額 759 ・人件費 7,923 (1.00人)	[概算コスト] 8,193 (内訳) ・予算額 344 ・人件費 7,849 (1.00人)	重点取組項目件数 (単位:件)	[目標値] 36 [実績値] 36 <達成率> 100.0%	[目標値] 41 [実績値] 41 <達成率> 100.0%	[目標値] 41 [実績値] 41 <達成率> 100.0%	[目標値] 41 [実績値] 41 <達成率> 100.0%	効果額 (単位:百万円)	[目標値] 176 [実績値] 185 <達成率> 105.1%	[目標値] 176 [実績値] 185 <達成率> 105.1%	[目標値] 176 [実績値] 185 <達成率> 105.1%	[目標値] 242 [実績値] 242 <達成率> 100.0%	A	A	継続 (理由) 交通事業の経営健全化を図るため、今後も健全化計画に基づく各取組を推進していく必要がある。	
16	新交通バリアフリー基本構想推進事業	企画財政局 交通政策課	社会基盤・都市施設基盤	○事業開始年度 平成13年度 【概要】平成24年度以降は、新構想に基づき、平成32年度を目標に、関係事業者等と一体となってバリアフリー化に向けた取組を実施するとともに、高齢者・障害者団体の代表や学識経験者、公共交通事業者、道路管理者、公安委員会等で構成する推進協議会を設置し、新構想の進捗管理等を行う。 【対象者】市民、事業者、行政 【具体的な活動内容】特定事業及びその他バリアフリー関係事業の実施、これら事業を実施するための計画の作成、心のバリアフリーの推進及びその他新基本構想の推進について、必要な協議及び調整を行う。	市単	[概算コスト] (内訳) ・決算額 ・人件費	[概算コスト] 821 (内訳) ・決算額 25 ・人件費 796 (0.10人)	[概算コスト] 3,448 (内訳) ・決算額 2,645 ・人件費 803 (0.10人)	[概算コスト] 7,122 (内訳) ・決算額 2,368 ・人件費 4,754 (0.60人)	[概算コスト] 1,739 (内訳) ・予算額 169 ・人件費 1,570 (0.20人)	会議の開催回数 (単位:回)	[目標値] 2 [実績値] 2 <達成率> 100.0%	[目標値] 2 [実績値] 2 <達成率> 100.0%	[目標値] 6 [実績値] 6 <達成率> 100.0%	[目標値] 4 [実績値] 4 <達成率> 100.0%	完了した事業数 (単位:項目)	[目標値] 60 [実績値] 53 <達成率> 88.3%	[目標値] 60 [実績値] 56 <達成率> 93.3%	[目標値] 60 [実績値] 56 <達成率> 93.3%	[目標値] 60 [実績値] 56 <達成率> 93.3%	A	A	継続 (理由) 「市民生活を支える機能性の高い快適なまち」の実現に向けた個別計画(鹿児島市新交通バリアフリー基本構想)の進行管理を行うものであり、必要な事業である。
17	鹿児島港フェリー施設維持管理事業	船舶局 船舶運航課	施設維持・管理	○事業開始年度 平成22年度 【概要】鹿児島港の人道橋・可動橋及びその付帯施設は、施工後相当年数経過し、部分的に経年劣化及び腐食が進行していることから、計画的な整備を行う。 (建築年月)第一、第二人道橋及び可動橋 平成9年12月 第三人道橋及び可動橋 平成12年7月 【対象】鹿児島港の人道橋・可動橋及びその付帯施設 【具体的な活動内容】施設の年次的な整備(工事及びそれに係る業務委託)	特会	[概算コスト] (内訳) ・決算額 ・人件費	[概算コスト] 0 (内訳) ・決算額 2,105 ・人件費 803 (0.10人)	[概算コスト] 2,908 (内訳) ・決算額 7,890 ・人件費 792 (0.10人)	[概算コスト] 8,682 (内訳) ・予算額 15,938 ・人件費 785 (0.10人)	[概算コスト] 16,723 (内訳) ・予算額 15,938 ・人件費 785 (0.10人)	工事(委託)件数 (単位:件)	[目標値] 2 [実績値] 2 <達成率> 100.0%	[目標値] 5 [実績値] 3 <達成率> 60.0%	[目標値] 4 [実績値] 4 <達成率> 100.0%	[目標値] 4 [実績値] 4 <達成率> 100.0%	計画的な整備による安全性の確保 (単位:)	[目標値] 2 [実績値] 2 <達成率> 100.0%	[目標値] 5 [実績値] 3 <達成率> 60.0%	[目標値] 4 [実績値] 4 <達成率> 100.0%	[目標値] 4 [実績値] 4 <達成率> 100.0%	A	A	継続 (理由) 桜島フェリーの安全・快適な運航を提供するため、人道橋や可動橋などの計画的な維持補修は必要である。
18	自転車等の放置防止対策及び駐車場等管理運営事業	建設局 道路管理課	社会基盤・都市施設基盤	○事業開始年度 平成8年度 【概要】天文館及び中央駅周辺等の自転車等放置禁止区域等において、道路・歩道・公共の場所等における自転車等の放置の防止による交通の円滑化及び良好な生活環境の確保を図るため、自転車等駐車場の管理運営及び放置自転車等の指導撤去等を行う。 【対象者】市民 【具体的な活動内容】 ・自転車等駐車場の管理運営 ・放置自転車等に対する指導、撤去	市単	[概算コスト] (内訳) ・決算額 ・人件費	[概算コスト] 164,154 (内訳) ・決算額 148,230 ・人件費 15,924 (2.00人)	[概算コスト] 164,127 (内訳) ・決算額 148,067 ・人件費 16,060 (2.00人)	[概算コスト] 167,696 (内訳) ・決算額 151,850 ・人件費 15,846 (2.00人)	[概算コスト] 166,680 (内訳) ・予算額 150,982 ・人件費 15,698 (2.00人)	放置禁止区域内(天文館・中央駅周辺)における自転車等駐車場の利用者数 (単位:人)	[目標値] 630,000 [実績値] 624,907 <達成率> 99.2%	[目標値] 630,000 [実績値] 584,029 <達成率> 92.7%	[目標値] 630,000 [実績値] 562,723 <達成率> 89.3%	[目標値] 630,000 [実績値] 562,723 <達成率> 89.3%	放置禁止区域内における放置自転車等の台数(警告書貼付台数) (単位:台)	[目標値] 33,941 [実績値] 33,941 <達成率> 100.0%	[目標値] 23,310 [実績値] 23,310 <達成率> 100.0%	[目標値] 25,165 [実績値] 25,165 <達成率> 100.0%	[目標値] 25,165 [実績値] 25,165 <達成率> 100.0%	A	A	継続 (理由) 天文館及び中央駅周辺等の自転車等放置禁止区域等における交通の円滑化及び良好な生活環境の確保のため必要である。

6-3 市民活動を支える交通環境の充実

No.	事務事業名	事業実施課	事業区分	事業概要	財源	概算コスト(単位:千円)				主な活動指標				主な成果指標				一次評価結果	二次評価結果	評価理由		
						21年度	22年度	23年度	24年度	指標名	21年度	22年度	23年度	24年度	指標名	21年度	22年度				23年度	24年度
19	バス停留所上屋整備事業	交通局 バス事業課	施設維持・管理	<p>○事業開始年度 昭和51年度</p> <p>【概要】利用者のサービス向上を図るため、バス停留所の上屋を設置する。 【対象者】バス利用者 【具体的な活動内容】 ・バス停留所上屋の新設、建替え 21年度:紫原陸橋(下り)新設、騎射場(下り)建替。他に地域活性化経済危機対策臨時交付金事業を活用し22棟を建替 22年度:大石様河(上り)新設、真砂入口(上り)新設 23年度:与次郎二丁目(上り)新設、市営プール前(下り)建替 24年度:鍋ヶ宇都(上り)新設予定、三和町(上り)建替予定</p>	特会(国・県補助)	[概算コスト] 26,375 (内訳) ・決算額 25,579 ・人件費 796 (0.10人)	[概算コスト] 2,098 (内訳) ・決算額 1,857 ・人件費 241 (0.03人)	[概算コスト] 2,102 (内訳) ・決算額 1,864 ・人件費 238 (0.03人)	[概算コスト] 2,715 (内訳) ・予算額 2,480 ・人件費 235 (0.03人)	新設・建替え棟数 (単位:棟)	[目標値] 24 [実績値] 24 <達成率> 100.0%	[目標値] 2 [実績値] 2 <達成率> 100.0%	[目標値] 2 [実績値] 2 <達成率> 100.0%	[目標値] 2 [実績値] 2 <達成率> 100.0%	バス利用者の利便性の向上	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	A	A	<p>継続</p> <p>(理由) 待合い時や乗降時の利便性を図るため、コスト削減に努めながら、継続して実施する必要がある。</p>
20	市電軌道改良事業	交通局 電車事業課	社会基盤・都市施設基盤	<p>○事業開始年度 平成18年度</p> <p>【概要】市電軌道敷緑化整備事業に併せてレール交換など、軌道改良工事を実施する。 【具体的な活動内容】 ・レールの交換 ・木枕木からPC枕木への交換 ・道床碎石の交換</p>	特会(国・県補助)	[概算コスト] 242,335 (内訳) ・決算額 237,000 ・人件費 5,335 (0.67人)	[概算コスト] 328,177 (内訳) ・決算額 324,804 ・人件費 3,373 (0.42人)	[概算コスト] 326,840 (内訳) ・決算額 321,532 ・人件費 5,308 (0.67人)	[概算コスト] 262,085 (内訳) ・予算額 258,788 ・人件費 3,297 (0.42人)	工事施工箇所延長 (単位:m)	[目標値] 3,745 [実績値] 804 <達成率> 21.5%	[目標値] 3,745 [実績値] 2,014 <達成率> 53.8%	[目標値] 3,745 [実績値] 3,015 <達成率> 80.5%	[目標値] 3,745 [実績値] 3,015 <達成率> 80.5%	軌道の安全確保・電車走行時の振動・騒音の低減	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	G	G	<p>終了</p> <p>(理由) 軌道敷の緑化整備に合わせて実施する併用軌道改良工事は、予定施工延長の整備が完了するため、終了する。</p>